

**RØDE®**  
MICROPHONES



# NT1-A



USER'S MANUAL  
-取扱説明書-



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958  
TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)



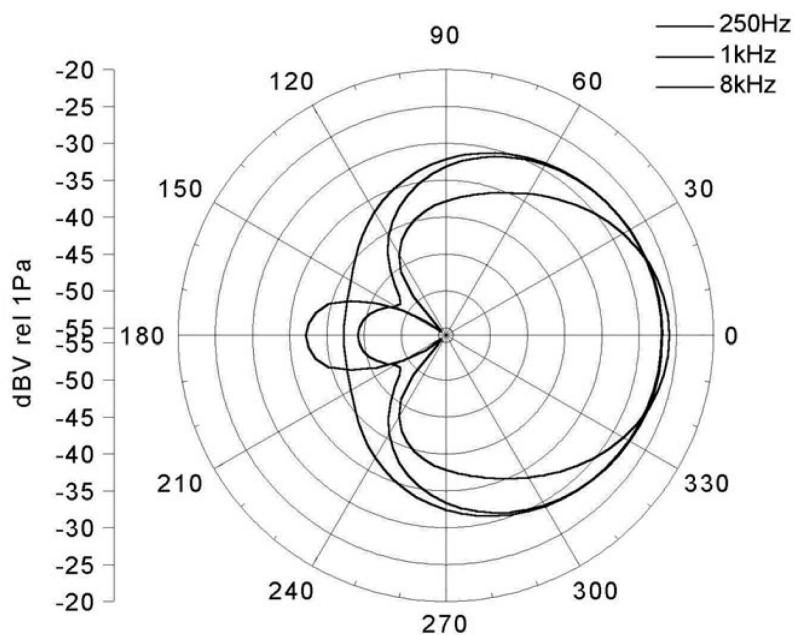
## はじめに

この度は RODE NT1-A をお買い上げいただき、誠に有難うございます。 製品の性能をフルに活用し、末永くお使いいただるために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。 尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

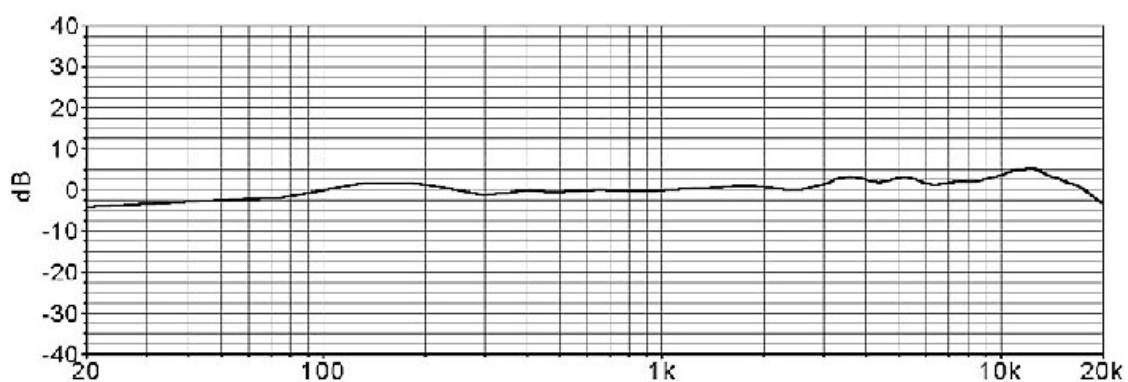
## 主な仕様

<b>タイプ</b>	: エクスターナリ・ポラライズド 25mm コンデンサー
Active Electronics	: 双指向性出力バッファー付き JFET インピーダンスコンバーター
<b>指向性</b>	: 単一指向性
<b>周波数特性</b>	: 20Hz ~ 20kHz
<b>出力インピーダンス</b>	: 100
<b>S/N 比</b>	: > 88dB (1kHz rel 1 Pa; per IEC651, IEC268-15)
<b>ノイズ</b>	: 5 dBA SPL (per IEC651, IEC268-15)
<b>最大出力</b>	: +13.7dBu (@1% THD into 1k )
<b>最大 SPL</b>	: 137dB (@1% THD into 1k )
<b>感度</b>	: -31.9dB、1V/pascal ( 25mV @ 94dB SPL ) +/-2dB
<b>ダイナミックレンジ</b>	: >132dB (per IEC651, IEC268-15)
<b>電源</b>	: ファンタム P48、P24
<b>サイズ・重量</b>	: 5.0 (直径) × 19 (全長) cm、320g

## 指向性 & 周波数特性



NT1-A Polar Response

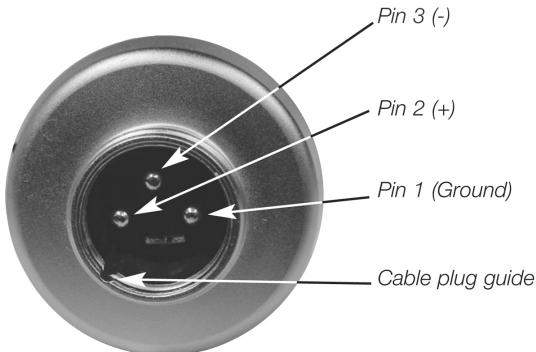


NT1-A Frequency Response

### Features

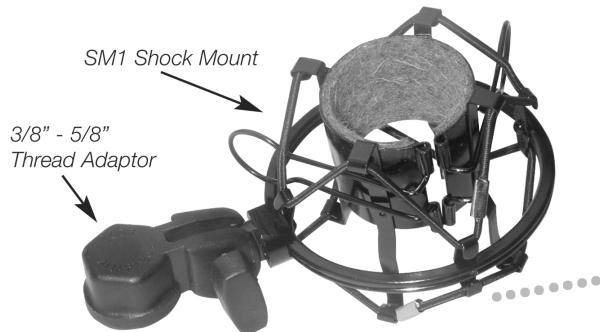
- 1インチ大口径カプセル、金メッキ仕様
- 超低ノイズ・トランスレス回路
- 最新技術を駆使したサーフェスマウント技術
- ヘビーデューティーなサテンニッケルフィニッシュ
- モノコック構造サブアセンブリー
- 内部ショックマウント仕様

## RØDE NT1-A Base



Note: Ensure cable is connected to correct pins.

## Accessories:



## 電源供給

1. NT1A を駆動させるには 48V のファンタム電源が必要です。ほとんどのミキシングコンソールには 48V のファンタムパワーサプライが内蔵されています。また専用のファンタム電源供給機器もあります。使用の際はファンタム電源が正常に供給されているか確認して下さい。電源供給に支障があると故障の原因になります。
2. NT1A をミキサーに接続する際にはゲインコントロールを完全に下げて下さい。
3. ケーブルの接続は、NT1A にファンタム電源を供給する前に行って下さい。電源が供給されている状態でのケーブルの抜き差しは絶対に行わないで下さい。
4. パワーサプライまたはミキサーの電源を ON にして下さい。電源供給後にマイクが安定するまでに 5~6 秒ほどかかります。
5. 録音する音(楽器やボーカル)のピークでピークライトが点灯するようにミキサーゲインを調節します。これで NT1A を使用するための準備は完了です。ファンタム電源の電圧が基準値に満たないと、ダイナミックレンジを含むマイクの性能が十分に発揮されない場合があります。十分なダイナミックレンジが出せない場合、まずファンタム電源の電圧を測定して下さい。
6. 電源供給装置の不良によって NT1-A が故障した場合、保証の対象外となります。

## マイク設置方法

欲しい音を得るためにテクニックがいくつかあります。まず EQ を OFF またはフラットな状態(ブーストやカットを使用しない状態)にします。反響板や吸音材がある場合は、録音する音源に沿っていろいろな角度に設置して下さい。最良のサウンドクオリティーを得るために最初のアプローチとして、マイクが設置されている音響環境を変化させてみて下さい。このアプローチによって求めているサウンドクオリティーを得てから、EQ やリバーブなどを使用して下さい。エフェクトに関しては、控えめに使用することをおすすめします。特定の周波数をカットすると、別の周波数が際立ち、理想とするサウンドに近づくことがあります。周波数をブーストすることはノイズを増やすこともあるので、最小限に抑える必要があります。マイクの設置方法や音響環境などをいろいろ変化させて、最高のサウンドを探してみて下さい。

大切なことは、マイクをセッティングする前に自分の耳で源音である楽器そのものをよく聴くことです。実際に聴こえる音が良くて初めて、録音した音も求めているサウンドに近づきます。

## ボーカル

### Vocals:



ボーカル録音には必ずポップガードを使用してください。サ行、タ行などの子音や濁点を含む破裂音では空気が激しく噴出される為、カプセルがオーバーロードし、ポップノイズを引き起こします。この問題はポップガードによって未然に防げます。またカプセルに水分が付着することも防止できます。マイクおよびポップガードの設置位置も収録環境や音楽ジャンル、ボーカルの声質によって変える必要があります。

手始めに、ポップガードをボーカリストの正面、マイクから 15cm 離して設置してください。マイク正面には目印として、金色の点がついています。これでボーカルとマイクの間に適切な距離を保つと同時に、録音に必要な音量を保つことが出来ます。

ボーカルがマイクに接する角度についても、様々な向きを試してみてください。マイクとボーカルが ON AXIS ( マイク正面とボーカルが向き合った状態 ) の場合と、OFF AXIS ( 正面以外の角度でボーカルがマイクと向き合った場合 ) の場合では、録音の音質が異なります。また OFF AXIS の場合、ボーカルとマイクが向き合う角度によって音質が変化します。

## エレキギター/エレキベース

### Electric Guitar/Bass:

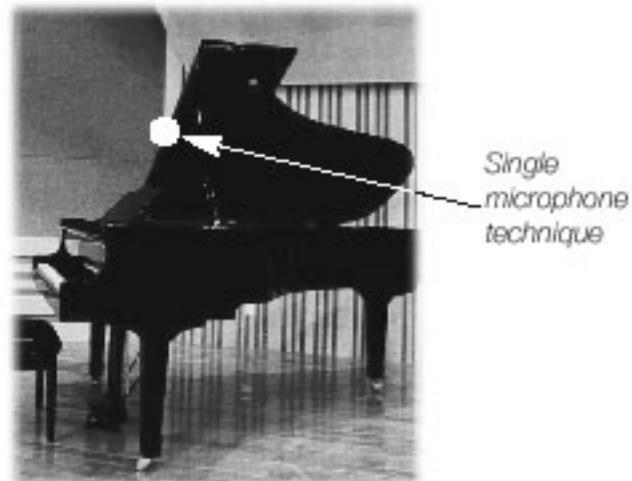


ギター/ベースアンプをコンデンサーマイクで収録するには、アンプのスピーカーにマイクを接近させ、若干傾いた位置にマイクをずらして設置してください（OFF AXIS）。

ご注意：ミキサー やマイクプリアンプに PAD スイッチが無い場合、マイクをスピーカーから更に遠く離して設置してください。マイクとスピーカーとの間に十分な距離が無い場合、大音量で歪みが生じる可能性があります。

## ピアノ

### Piano:



1 本のマイクでピアノ録音を行う場合、写真のように、マイクをサウンドボードの中心から、約 60cm 上に設置してください。マイクカプセル部分は、ピアノの正面を向くようにして下さい。

2本のマイクで X/Y ステレオ録音を行う場合、ペアマイクまたは類似したマイク同士をバーに設置し、互いに  $90^{\circ}$  ~  $100^{\circ}$  の角度で向き合うようにして下さい。1本は下弦、もう1本は上弦に向かって設置してください。いずれも正面を意味する金色の点が下側になるように設置してください。

低域は左側のマイクで収録し、高域は右側のマイクで録音すると有効なステレオ・イメージが得られます。

## ドラム

### Drums:



ドラム録音には様々な方法があります。1本のマイクをオーバーヘッドにする、2本のマイクをオーバーヘッドにする、複数のマイクを各ドラム、シンバルに近接して設置するなどです。

#### 複数のマイクをドラム/シンバルに近接設置する

1本のマイクでドラム録音する場合、ドラムの正面上、ドラムキットの幅と同じ高さにマイクを設置してください。マイクは正面が下向きになります。

2本のマイクでドラムをオーバーヘッド録音する場合、ドラムキット幅と同じ高さにマイクを設置します。ドラムキットの幅に応じて、各マイクは  $1\sim2m$  離してください。マイク同士の距離は、マイク - スネアドラムの距離と等しくなるよう、心がけてください。

X/Y ステレオ・テクニックを用いてドラム録音する場合、ペア、または類似したマイクをドラムの正面上、ドラムキットの幅と同じ高さに設置してください。マイクの正面が下を向くよう設置し、マイク同士は  $90^{\circ}$  ~  $100^{\circ}$  の角度で向かい合うようにして下さい。

## アコースティックギター

### Acoustic Guitar:



基本となる収音方法は、マイク（1本）をネックとボディの接合部分の前、20～30cm 離して設置します。ただしこの距離はあくまで目安ですので、様々な距離、設置角度を試してベストな音を探して下さい。

他によく用いられる録音方法として、小型のカプセルマイク（RODE NT3 や NT5 など）をギターの近くに設置し、大型カプセルマイク（NT1-A など）を音源から離して（約 1m）設置する方法があります。各マイクの録音を後々好みに合わせてミックスしてください。

### 保存方法

使用後は NT1-A をショックマウントから取り外し、乾いた布でふき取った後、付属ケースに収納してください。使用後は清潔な布でマイクを拭き、付属のソフトバッグに除湿材を入れ保管してください。この除湿材は通常青色ですが、ピンク色に変色している場合は 100-150 度のオーブンの中に入れて、青色になるまで熱することで再度除湿剤として使用可能です。

## 保証書

### 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より10年間有効

#### ■保証規定

保証期間内（ご購入より10年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカー代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スマートマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。

